

## 週報①

### 広島市医師会臨床検査センター受託分 感染性胃腸炎検出状況

検出菌 ウイルス	2024年												2025年						
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月 ~5日	1月 ~12日	1月 ~19日	1月 ~26日
カンピロバクター	47	43	65	20	24	38	25	57	50	39	41	50	50	37	36	3	6	5	4
病原性大腸菌	49	80	102	43	61	105	92	79	76	83	70	86	49	46	33	1	5	10	6
腸管出血性大腸菌	0	0	0	0	3	1	0	1	2	1	6	2	0	1	1	0	0	0	0
サルモネラ	15	6	9	4	4	2	7	5	8	12	29	13	12	7	6	0	0	1	0
黄色ブドウ球菌 MSSA	21	18	16	6	4	16	4	12	21	11	17	24	5	6	4	1	4	3	6
黄色ブドウ球菌 MRSA	5	9	16	8	6	12	6	3	10	8	6	21	12	8	13	1	2	4	2
腸炎ピブリオ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	2	0	0	0	0	0	1	3	1	5	1	2	0	1	0	0	0	0
ロタウイルス	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
アデノウイルス	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1
ノロウイルス	0	0	4	9	20	10	3	4	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0

## 週報②

### 広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC) 感染症週報

令和7年第4週(1月20日~1月26日)

#### 2. 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市	
一類	0	発生なし	0								
二類	7	結核	7	2	2		1		1	1	
三類	1	腸管出血性大腸菌感染症	1					1			
四類	5	レジオネラ症	5	2	1	1				1	
五類	20	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	2				1	1			
		急性脳炎	1							1	
		劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2					2			
		侵襲性インフルエンザ菌感染症	1								1
		侵襲性髄膜炎菌感染症	1					1			
		侵襲性肺炎球菌感染症	3					2	1		
		梅毒	6				1	3	2		
百日咳	4					4					

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市  
西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町  
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町  
北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

■コメント

1 インフルエンザ

定点当たり7.33人の報告がありました。注意報レベル(定点当たり10人)を下回りましたが、インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等の報告が8件あり、引き続き注意が必要です。手洗いの励行、咳エチケット、換気など、感染予防対策を徹底しましょう。

迅速診断キット検査結果(市内2か所の協力医療機関による) 第4週 A型:43人、B型:4人

2 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)

定点当たり3.17人の報告がありました。基本的な感染予防対策を徹底しましょう。

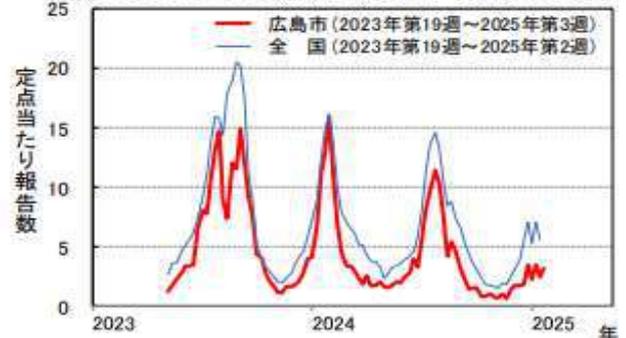
3 RSウイルス感染症

定点当たり0.83人と、例年同時期と比べて多くなっています。生後数カ月までの乳児が初感染した場合は重症化しやすいため、咳等の呼吸器症状がある人との接触を避けるなどの注意が必要です。

4 感染性胃腸炎

定点当たり7.83人の報告があり、前週の約1.5倍に増加しました。

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の流行状況



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注) 過去5年間	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注) 過去5年間	発生記号
インフル	インフルエンザ	264	7.33	9.73	▲	小児科	ヘルパンギーナ	-	-	0.14	
	新型コロナ(COVID-19)	114	3.17		□		流行性耳下腺炎	1	0.04	0.04	
小児科	RSウイルス感染症	19	0.83	0.09	▲	眼科	急性出血性結膜炎	1	0.13	-	
	咽頭結膜熱	9	0.39	0.71			流行性角結膜炎	5	0.63	0.40	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	40	1.74	1.34	▲	基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	
	感染性胃腸炎	180	7.83	7.92	□		無菌性髄膜炎	-	-	-	
	水痘	8	0.35	0.24			マイコプラズマ肺炎	11	1.83	0.09	
	手足口病	1	0.04	0.21			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	伝染性紅斑	4	0.17	0.09			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	0.03	
	突発性発しん	2	0.09	0.20							

急増減 ▲ (前週と比較しておおむね1:2以上の増減)

増減 ▲ (前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減)

微増減 ▲ (前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減)

横ばい □ (ほとんど増減なし)

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ/COVID-19定点数(小児科定点を含む)	36
小児科定点数	23
眼科定点数	8
基幹定点数	6

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
3	腸管出血性大腸菌感染症	1	1	60歳代・O血清群不明
5	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1	2	50歳代
5	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2	5	70歳代・2人
5	侵襲性髄膜炎菌感染症	1	1	20歳代
5	侵襲性肺炎球菌感染症	2	5	60歳代、90歳代
5	梅毒	3	5	20歳代、30歳代、50歳代
5	百日咳	4	9	10歳未満・1人、10歳代・2人、70歳代・1人